

第2学年 学年通信

第 15号

H. 24. 7. 18

今世間を席卷しているスマートフォンの先駆けともいえるiPhoneの創始者スティーブ・ジョブズ（以下ジョブズ）の残した言葉を紹介し、その前にジョブズを簡単に紹介してみましょう。ジョブズは21歳の若さで「アップルⅠ」を発売、その後様々な紆余曲折を重ねながら、「マッキントッシュ」「iMac」「iPod」、そして今の「iPhone」「iPad」と開発・発売をしてきました。残念ながら2011年に56歳という若さで帰らぬ人となってしまいましたが、ジョブズの残した作品と思想は、これからも有形無形のものとして残っていくことでしょう。偉大な功績を残してきたジョブズは、生前に数々の名（迷）言を残してきました。その中でも先生の心の琴線に触れた言葉を紹介してみます。

「点が将来結びつくと思わなくてはいけません。信じるものを持たなければならぬのだ」

これは、スタンフォード大学の卒業式で学生達に語った言葉です。「・・・大学にいた当時は、将来を見据えて点と点を結びつけることは不可能でした。しかし十年後に振り返ってみると、点と点が結びついたことがはっきりわかりました。点が将来何らかの形で結びつくと思わなくてはいけません。信じるものを持たなくてはなりません。」未来のために、今の努力・行いを無駄と思わない、という事ではないでしょうか。

「今日が人生最後の日だったら、今日やろうとしていることをやりたいと思うか？」

ジョブズは17歳の時に「もしあなたが毎日、これが最後の日と思って生きるなら、いつかきっと正しい道に進むだろう」という言葉に出会い、その日以来毎日朝鏡に向かってこの言葉を自問自答してきたそうです。「やりたいこと」の答えがノーであり、それが何日も続けば、何かを変える必要があると言っています。

「君たちの時間は限られている。だから自分以外の誰かの人生を生きることはできない」

ジョブズが膵臓ガンと診断され、余命6ヶ月と医師に宣告された後に、同じくスタンフォード大学の卒業式でスピーチした言葉です。「・・・その他大勢の人の雑音に自分の内なる声・心・直感をかき消されないことだ。自分の内なる声・心・直感、君が本当になりたいことが何か、とっくの昔に知っているんだ」

今の「行い」（点）が、いずれ結びつき「線」となり、その延長線上に何らかの「結果」が生じます。「今」は既に過去となっていきますが、「未来」は「今」の延長線上にある限り、「未来」を創るのは「今」なのです。そして「今」それが本当にやるべきことなのか？本当に心から欲していることなのか？自分の心に素直に耳を傾け、「今日が人生最後の日」だと思ってよく考えてみれば、君の毎日は素晴らしく充実したものになっていくでしょう。この夏休みが、まさしく「一皮むけた」ものになることを祈ります。 U・T

週行事予定表（ 7/23 ~ 8/5 ）

月	日	曜	行 事 内 容	備 考
7	23	月	夏季課外	8：15着席
	24	火	夏季課外	8：15着席
	25	水	夏季課外	8：15着席
	26	木	夏季課外	8：15着席
	27	金	オープンスクール 地区PTA①	
	28	土		
	29	日		
	30	月	夏季課外（45分）	8：15着席
	31	火	夏季課外	8：15着席
8	1	水	夏季課外	8：15着席
	2	木	夏季課外	8：15着席
	3	金	夏季課外 地区PTA②	8：15着席
	4	土	南那珂地区夏季宿泊学習会（～6日）	
	5	日		